

命の繋がりと支え

小学五年 馬場 望

部屋の掃除をしていたら、箱に入った私のへその緒を見つけた。それを初めて見て、ふと、私は学院長先生のお話を思い出した。

「亡くなった方から受け継がれた『命の繋がり』に感謝しましう。」

私はへその緒を見ながら、私が母とこれで命が繋がっていたように、両親、祖父母、ご先祖様もずっとずっと命が繋がっているのだと感じた。私は、「これまで「命の繋がり」について深く考えたことが無かったが、私がここで生きているのは、「命の繋がり」が、ご先祖様からずっと、途切れずに受け継がれてきたからだと気付かされた。

また、私が生きていられるのは、「命の繋がり」だけではなく、多くの「支え」のおかげでもある。両親はいつも私を支えてくれている。私が生まれたときは、医師や助産師の方々が支えてくれた。私は予定より少し早く生まれてしまったが、彼らのおかげで無事だったそうだ。また、友達も私が首を痛めていたときに、私に合わせてゆっくりと歩いてくれるなど、私を支えてくれた。私は毎日、肉、魚、米、小麦などを頂いている。これらは、元々動物や植物などの命あるものだ

ったが、私が生きるために命を与えてくれた。

このように、「ご先祖様から繋がっている命は、たくさんの人や、多くの命に支えられながら私を生かしてくださっているのだ。

お釈迦様が、「私のいのちは、天にも地にもたったひとつしかない、尊いものである」とおっしゃったように、あらゆる命はそれぞれ一つしかない。だからこそ、「命の繋がり」と私を支えてくれた人や動物、植物たちに感謝をし、それらを無駄にしないよう、精一杯生きたい。また、私は将来、医師になって、患者さんを支えられる人になりたい。